

第四十九回 三溪園投句箱受賞者

《一般の部》

横浜市長賞

木五倍子咲く雲の疾さを塔にみて

三枝 侑子（さえぐさゆうこ）

三溪園理事長賞

笛の音に塔浮かび立つ良夜かな

大塚 かずよ（おおつかかずよ）

横浜俳話会会長賞

耳遠きふたりの間合い曼殊沙華

高橋 貴彦（たかはしたかひこ）

三溪園園長賞

人待ちの筆と文机冬座敷

高田 久生（たかだひさお）

三溪園賞

ベンチにて亀鳴くを待つ三溪園

池野 弘葉（いけのひろは）

三溪園賞

秋の声大きな耳で聞く露仏

守谷 一劍（もりやいつけん）

三溪園賞

さざなみの白雲に乗る目高かな

高島 治（たかしまおさむ）

横浜俳話会賞

石棺に天平のこゑ櫛紅葉

宮崎 清美（みやざききよみ）

横浜俳話会賞

小流れの光となりて散紅葉

橋爪 あゆみ（はしづめあゆみ）

横浜俳話会賞

屋根替の成りし御堂や若葉雨

桑本 螢生（くわもとけいせい）

入選

うぐいすの歌聞きひらく赤子の目

榎本 佳果（えのもとけいか）

入選

浮き舟の影に漣小六月

野中 定代（のなかさだよ）

入選

時雨るるや哲学顔の鷺一羽

窪田 ますみ（くぼたますみ）

入選

吹く風に一期一会のこぼれ萩

石田 良平（いしだりょうへい）

入選

涼しさや本堂に聞くフランス語

田中 まぎぬ（たなかまぎぬ）

入選

茅葺を燻す囲炉裏火春立ちぬ

堀田 英俊（ほったひでとし）

入選

真新し茅葺き屋根よ天高し

村瀬 陽子（むらせようこ）

入選

点呼待つ三溪園の赤とんぼ

佐々木 久子（ささきひさこ）

入選

掛時計百年動く夏館

増子 桂子（ますこけいこ）

入選

野晒しの舟に身を寄す渡り鳥

田中 清春（たなかきよはる）

入選

浮寝鳥池の向かうの大道芸

黒田 牧男（くろだまきお）

入選

三溪園孤舟を囲む浮寝鳥

青木 敏行（あおきとしゆき）

入選

池の端の白無垢清し花菖蒲

依田 美由起（よだみゆき）

入選

三溪園落ち葉ふとんに猫昼寝

亀井 京子（かめいきょうこ）

入選

直立の衛兵の列菊花展

川満 久恵（かわみちひさえ）

《年少者の部》

高校生

睡蓮をかきわけかきわけ亀進む

塩崎 夏奈（しおざきかな）

児童

あおさぎのこさかなねらうながいくび

大橋 梨乃（おおはしりの）

小学生

かもがひくいけにひろがるなみもよう

葛原 愛羽（くずはらあいは）